



虹のマーチ

2011.6
第19号

川越地区消防組合

節電対策中の室内、屋内の熱中症にご注意！



熱中症には迅速な応急処置が必要です。

今年もまた、暑い夏がやってきます。全国的な節電の実施により、高温多湿になった室内での熱中症が増加することが予想されます。

熱中症は、高温多湿の環境下において体温を下げるための汗が蒸発しないため、皮膚からの放熱ができず、体温調節ができなくなることが主な原因で発症し、気分不快、吐き気、頭痛、めまい、けいれん、筋肉の痛みなどの症状が生じ、ときには死に至る場合があります。

では、熱中症対策はどのようなことに注意すればよいのでしょうか？

【熱中症にならないために】



体温を上げない

- ① 暑い日中の外出や運動は避ける
睡眠不足時や風邪など体調不良のときには体温の調節機能が低下しています。
- ② 直射日光を避け体温を上げない
外出時は帽子をかぶる、日傘をさすなどして、直射日光を避けるとともに、通気性の良い衣類を着用し、体温が上がらないようにしましょう。
- ③ 水分及び塩分の補給
大量の発汗により、水分とともに塩分も失われます。薄い塩水もしくはスポーツドリンクをこまめに飲みましょう。
- ④ 体力の弱い子どもや高齢者の方は特に注意が必要です
体温調節がうまくできずに熱中症になるケースが多く発生しています。

【熱中症にかかったら】



体温を下げる

- ① 涼しい場所へ移動する
高温多湿な環境から冷房の効いた室内や日陰などに移動しましょう。
- ② 体温を下げる
太い血管が通っている、脇の下や太ももの内側に冷たいタオルなどを当てることで、冷却された血液が循環し、体温が下がります。
- ③ 衣服を緩める
衣服を緩めることで身体の緊張が和らぐと、血液の循環が良くなり、体温を効果的に下げることができます。
- ④ 水分及び塩分の補給
失われた水分及び塩分を補給するため、薄い塩水もしくはスポーツドリンクを少量ずつ数回に分けて与えましょう。

症状が回復しない場合は、医療機関を受診しましょう。また、意識障害がある場合は、生命が危険な兆候です。応急処置を実施するとともに、ただちに119番通報し、救急車を要請してください。

消防局救急課 TEL 222-0160



「東日本大震災」発生に伴い、被災地に緊急消防援助隊を派遣

川越地区消防局では、平成23年3月11日(金)に発生した「東日本大震災」について、同日21時13分、消防庁長官からの出動の指示を受け、緊急消防援助隊として消火部隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊の4隊18名を、岩手県陸前高田市へ派遣しました。

派遣された隊員は、同市内の津波により大きな被害を受けた地区を中心に、懸命な検索救助活動のほか、避難所や病院からの要請による救急活動を実施しました。

岩手県への派遣は3月31日(木)まで続き、4回の



大量のがれきの中、検索救助活動にあたる緊急消防援助隊埼玉県隊

隊員交代により、延べ82名の隊員を派遣しました。さらに、3月25日(金)20時40分、福島県への出動の指示を受け、4月6日(水)から緊急消防援助隊として救急部隊、後方支援部隊の2隊8名を福島県へ派遣し、福島県相馬市、南相馬市において救急活動支援を実施しました。

福島県への派遣は5月4日(水)までに4回の隊員交代により、延べ36名を派遣し、今後も継続される予定です。



被災地の集結場所にて出動に備える
緊急消防援助隊埼玉県隊の消防車両

※緊急消防援助隊については、4ページの虹色通信で詳しく説明しております。

消防局警防課 Tel 222-5891



大地震が起こったときの119番通報

川越地区消防局庁舎内にある通信指令室では、川越市・川島町から通報されるすべての119番通報を24時間体制で受信し災害対応をしておりますが、大地震のような広範囲な災害が発生した場合は、電話の使用に通信規制がかかることがあります。

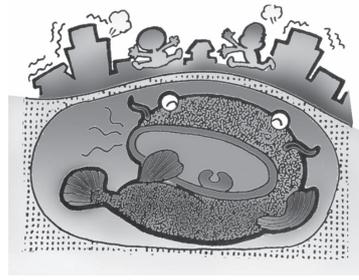
NTTでは一般家庭の電話が繋がりにくい場合でも、公衆電話は優先的に通じるようにしてあるので、緊急の際は公衆電話(料金不要)から119番通報をするか、最寄りの消防署に駆けつけて通報するようにしてください。

また、地震発生直後には119番通報での、電気・ガス・水道等のライフラインに関する連絡先の問い合わせを数多く受信します。このような緊急通報以外の問い合わせが相次ぐと、119番通報が繋がりにくくなり、助けを求めている方への対応が遅れることにつながりますので、ライフライン等に関する緊急連絡先は事前に控えておくようにしましょう。

119番通報をするときは、火事や事故、急病等で消防車や救急車が向かう住所と、現在の状況を落ち着いて、できるだけ詳しく教えてください。あわててしまって「とにかく早く来て!」とだけ言って電話を切ってしまうと、消防車や救急車の到着がかえって遅くなってしまうので、消防車や救急車の指令管制員の問いかけに落ち着いて答えるように通報してください。

皆さんの御協力をお願いします。

消防局指揮統制課 Tel 222-0700



2011年度全国統一防火標語 消したはず 決めつけないで もう一度

救急医療週間がはじまります

9月9日は、救急の日です。また、9月9日を含む1週間を「救急医療週間」とし、全国で様々なイベントが開催されます。当消防局では、今年度も救急の日のイベントを実施いたします。

【屋内イベント】

・上級救命講習を実施します
 胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸、AED使用法、また、ケガや急病の際の応急手当（固定法・止血法・体位管理）を学びます。
 ※受講者には、修了証を交付します。

開催時間 午前9時～午後5時

開催場所 川越地区消防局 3階講堂（川越市神明町）

対象 中学生以上で、川越市・川島町在住か
 在勤又は在学の方

定員 先着30人

申し込み 6月20日(月)午前10時から、電話にて受付いたします。

受付時間 平日の午前10時～午後5時

※日程、場所等を変更する場合がありますので、事前に問い合わせください。

昨年度の上級救命講習修了者集合写真



上級救命講習の
 申し込み先電話番号
 【消防局救急課】
 TEL049-222-0160

【屋外イベント】

・消防音楽隊による演奏会
 ・救急車及び消防車の展示
 ・救急救命処置のデモンストラーション

・心肺蘇生法の体験
 ・AED（自動体外式除細動器）の取り扱い

開催時間 午前10時～午後2時

開催場所 ウニクス南古谷イベント会場（川越市泉町）
消防局救急課 TEL222-0160

夏の風物詩 花火を楽しもう

夏の風物詩「花火」。いよいよ子どもたちにとって楽しい季節となりました。しかし、気軽に楽しめる花火も取り扱いを誤るとやけどや火事などの事故につながりかねません。実際に花火が原因の火災は、全国で多く発生しています。

やけどや火事などの事故が起きないように次のことに十分注意し、夏の楽しい思い出にしましょう。

- ① 天気の様子をみて、風の強いときは花火をしないようにしましょう。
- ② 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぼう。
- ③ 子どもだけでなく、大人と一緒に遊ぼう。
- ④ 説明書をよく読み、注意事項を必ず守ろう。
- ⑤ 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につけるようにしましょう。



消防局予防課 TEL222-0744

住宅用火災警報器の悪質訪問販売にご注意を!!

「私は、大丈夫」と過信していませんか??

埼玉県内では2月から3月にかけて、7件の悪質訪問販売による被害が報告されました。いずれも消防職員や業者などを装って、言葉巧みに高額で売りつけるものです。被害金額も1回で数万円から数十万円に達しています（事例の詳細は当消防局ホームページ参照）。

今のところ当消防局管内での被害は報告されていませんが、いつ自分の身に降りかかるとも限りません。油断は大敵です！次のことに注意をお願いします。



- ① 消防職員、市町村職員等を装う。消防職員等が住宅用火災警報器の販売や点検をすることはありません。また、特定の業者に販売や点検の依頼をすることもありません。
- ② 恐怖心をあおる、おどす。住宅用火災警報器の未設置については、現在のところ罰金などの罰則はありません。
- ③ 特別価格を強調する。機器にもよりますが、値段の相場は四千円から一万円が中心です。また、機器自体が安くても取り付け費用として法外な値段を請求してくる場合があります。
- ④ 考える時間を与えない。言葉巧みに住宅内に入り込み、勝手に住宅用火災警報器を設置し、金銭を要求するケースや、お金を払わせただけ、その場を立ち去り、行方をくらませるケースもあります。

消防局予防課 TEL222-0744

平成23年度予算

4,726,780,000円

消防局総務課 TEL 222-0741

歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金(組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	4,478,166,000円 (94.7%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	4,070,000円 (0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	249,000円 (0.0%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	20,000,000円 (0.4%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	24,795,000円 (0.5%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	199,500,000円 (4.2%)
歳入合計	4,726,780,000円

歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	6,540,000円 (0.1%)
総務費 (組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	3,227,000円 (0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要な経費および消防施設の建設費等)	4,412,824,000円 (93.4%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	299,689,000円 (6.3%)
予備費	4,500,000円 (0.1%)
歳出合計	4,726,780,000円

※比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

情報公開制度の実施機関別決定件数(件)

実施機関	全部公開	部分公開	非公開	取り下げ	合計
議会	0	0	0	0	0
管理者	0	5	0	1	6
消防長	0	0	0	0	0
公平委員会	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0
合計	0	5	0	1	6

個人情報保護制度の実施機関別決定件数(件)

実施機関	全部開示	部分開示	非開示	取り下げ	合計
議会	0	0	0	0	0
管理者	1	3	0	0	4
消防長	0	0	0	0	0
公平委員会	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0
合計	1	3	0	0	4

※訂正などの請求は、ありませんでした。

消防局総務課 TEL 222-0741

住民の皆さんの権利や利益の保護と、公正で信頼される組合行政の推進のため、組合が保有する個人情報の取り扱いについてルールを定め、個人情報の開示・訂正などを請求する権利を保障する「個人情報保護制度」を実施しています。平成22年度の実施機関別の決定件数は、左表のとおりです。

○個人情報保護制度の運用状況

住民の皆さんの組合行政への参加促進と開かれた組合行政の推進のため、請求・申出にに対し、組合で保有している公文書を公開する「情報公開制度」を実施しています。平成22年度の実施機関別の決定件数は、左表のとおりです。

平成22年度の個人情報保護制度と運用状況報告

虹色通信 ～ 緊急消防援助隊とは… ～

緊急消防援助隊とは、大規模な災害等で被災した都道府県内の消防力だけでは対応が困難な場合に、総務省消防庁長官の指示や求めにより出動する応援部隊です。

平成7年1月の阪神・淡路大震災を契機に、全国の消防機関による迅速な消防応援を実施するため、平成7年6月に創設されました。

平成23年4月1日現在の登録部隊数は、783消防本部4,354隊で、各地の大規模災害へ出動し、被災地での活動にあたります。

◎川越地区消防局の登録部隊数 11隊

消火部隊4隊、救助部隊2隊、救急部隊2隊、後方支援部隊2隊、特殊装備部隊(はしご車)1隊

◎過去の派遣

平成16年 7月：新潟・福島豪雨災害

平成16年10月：新潟県中越沖地震

平成23年 3月：東日本大震災

消防局総務課 TEL 222-0741

・川越市大塚新田 木幡育英さん
 ・同 吉田 吉田美津江さん
 ・入間市東町 野沢有二さん

救急活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。

ありがとうございます



消防だより

虹のマーチ

2011.6 第19号

発行／川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/